

## 株式会社 IMAGICA TV 第3回番組審議委員会議事録

開催日： 2008年11月13日(木) 10:30～12:00  
開催場所： 東京都港区白金台三丁目19-1 株式会社 IMAGICA TV 内 会議室  
出席者：

放送番組審議委員	株式会社 IMAGICA TV
小倉 紀行	草野 雄次(取締役)
植田 敬三	杉尾 壮弘(取締役)
横田 栄三	野村 憲一
犬養 亜美	林 哲夫
石川 俊之	小瀬 朋子
小倉 茂	松田 健吾
	高野 佳彦

(以上、敬称略)

議題：「洋画★シネフィル・イマジカ」、「食と旅のフーディーズTV」および「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

配布資料：上記各チャンネル10月および11月プログラムガイド  
各チャンネルメディアプロフィール

審議内容：

- ① 開会挨拶(草野取締役)
- ② 各チャンネル編成担当より活動方針、編成方針の説明
- ③ 各チャンネルの番組、編成に関するご意見

◆『洋画★シネフィル・イマジカ』について

<編成より>

- ・ 視聴者の意向、CATV局の視聴率などの影響もあり大作系の派手な作品や最新作が増えつつも従来のシネフィルらしいテイストを保つ編成を心がけている
- ・ ジャック・タチ、デビッド・リンチ、クリント・イーストウッド、オーソン・ウェルズ、スタンリー・キューブリック等を10～12月に特集
- ・ また、この秋よりシネフィル放送作品の見どころを伝える番組として浅草キッドを起用した「浅草映画研究会」をスタートさせ、ライト層にも興味を持ってもらうことを目的とした。
- ・ 12月の企画として、過去8年続けてきたシネフィルショートショート総決算として「ショートショート映画祭」と銘打ち好評だった作品群を放送、視聴者に審査員になってもらうような企画を実施。

<ご意見>

- ・ 「ドリス、94歳の選挙戦」は非常に面白かった。  
ただ、番宣は流れているにもかかわらず初回放送が15日過ぎであることに違和感を覚えたので編成上の工夫をして欲しい。
- ・ 「ドリス～」についてはいわゆるアメリカンデモクラシーの系譜にあり、「スミス都へ行く」を思い出した。アメリカンデモクラシーに分類される映画は単純さ、明快さが楽しく、こういう切り口で特集を組んでもらってもうれしい。
- ・ 前回、「映画の解説文化」ということを申し上げたが、「浅草映画研究会」はある意味映画本編より面白かった。1人の解説者が先生のように高いところから解説する、というスタイルもあるが、「浅草～」のように掛け合いで、観客目線の感情をストレートにぶつけるスタイルもよい。
- ・ 「インランドエンパイア」を観たが、非常に難解であり、こういうものこそ誰かに解説やこの監督の系譜など理解の助けになるようなものが欲しいと思う。
- ・ 「浅草～」はもっと内容の濃いものにして欲しい。シネフィルのレベルが落ちたように感じた。
- ・ 「シネマグラン」と「名画座」の違いは？  
→ 「シネマグラン劇場」は最新作や最近のヒット作、「名画座」は文字通り時代を超えて愛される名画、という括りにしている。

◆ 『食と旅のフーディーズTV』について

<編成より>

- ・ 本年10月よりチャンネル名称変更
- ・ 食の専門チャンネルに視聴者の声を反映させた形で特に親和性の高い「旅」コンテンツを増やしながら特集を組んでいる。  
10月は「イタリア」11月は「ボジョレー」12月は「クリスマス」など季節感も持たせた形で特集。
- ・ レシピ系番組も更に充実させるのが使命であり看板番組である「デイリーキッチン」を2時間枠でゾーン編成強化を実施。

<ご意見>

- ・ フーディーズの土日の編成があまり好きではないのだが、そういう時に感謝デーで無料開放があったりする。  
そういう意味ではそこに合わせた特別編成などを考えても良いのでは。
- ・ 最近旅の番組が増えた。「Railway Story」などは好きで観ている。ただあまり了が増えると旅チャンネルとのバッティングが心配になる。
- ・ イタリア特集「アラメング村」を観て、人間の豊かさ、貧しさとは何かを感じさせられた内容だった。
- ・ 「デイリーキッチン」は内容としては非常に良くできている。特にレシピとおさらいが最後に出てくるのがよい。また地上波にありがちな試食シーンは必要なく、それが無いのが良い。
- ・ 「デイリーキッチン」に出演する料理家の人選はどのようにしている？  
→ 一般に認知されている料理家は決して多くはないので、人をフィーチャーする、というよりは食材をフィーチャーしているようなつくりになる。
- ・ 2時間枠というのは見るほうとしてはちょっと長い。2時間の中のどこにそんな料

理をやるのか、が番組表などでわかるようにしてくれるとありがたい。

- ・ 「試食は必要ない」というのは言われてみると気がつくことで、日本の TV はある種パターン化しており、それが崩れると逆に新鮮に映る。
- ・ 旅コンテンツが増え、食と旅のバランスが取れたことで家族で見られるチャンネルになったことで喜んでいる。
- ・ 栄養学からの見方があると良い。
- ・ 季節もの（クリスマスやおせちなど）は少し前から雰囲気盛り上げるように編成してもよいのでは？
- ・ 外国もの（ジェイミー、Everyday Food など）は文化の違いや感覚の違いなどもあり、そういうものを感じるのが面白いので、続けて欲しい。

◆ 『歌謡ポップスチャンネル』について

<編成より>

- ・ 前回ご指摘いただいた番組後の通販などについては一旦クッションを入れる等工夫をおこなっている。完パケは見ても放送された状態を見る頻度が少なかった。そういう意味でご意見いただけたことに非常に感謝している。
- ・ 「R65」「うた紀行」の2番組を新番組として投入した。

<ご意見>

- ・ 「R65」は明るくてよい。演歌は暗く落ち込んでしまうことが多いので・・・
- ・ MC の泉麻人はゲストの話の引き出し方が非常に上手で、大人の会話ができる。
- ・ 「R65」はゲストの人選が全て、というところがある。  
当時の絵などをもっと見たかった。権利処理費用などの関係があるかもしれないが、あればもっと番組の価値が上がる。
- ・ 初回放送以降、曜日、時間がバラバラなので、1日/15日というよりは、●曜日の●時初回、となっていた方が分かりやすくありがたい。
- ・ 「うた紀行」は名曲アルバムのご当地演歌版といった趣きで、本人の歌だけをじっくり聴く作りになっている。
- ・ タイトルだけではなくて、発表年や作詞作曲などの情報も合わせて表示して欲しい。
- ・ 歌は古いのだが映像は当時のものではなく現在の街並みをハイビジョンで撮っている、という作りが不自然といえれば不自然。
- ・ 「なぎら TV」をあらためて見ると、その場でアドリブで自分が弾き出す、人間がやっている感じがとても楽しく本人たちの才能が生きる感じがする。

④ 石川委員より、2008年10月よりサービス開始したスカパー！HDの加入経過に関する報告

⑤ 次回番組審議委員会の開催は、来年5月中旬頃に開催する旨、確認する。

以 上